

令和5年度 大池系発電所の水利使用に係る検討協議会

大池系発電所の概要と これまでの経緯

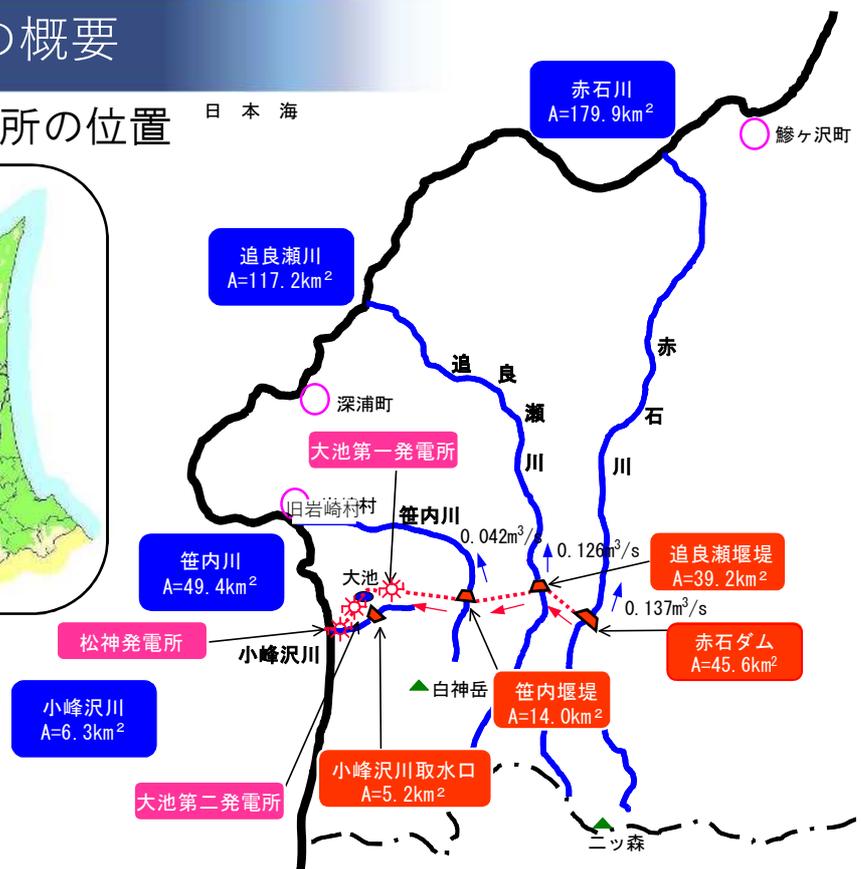
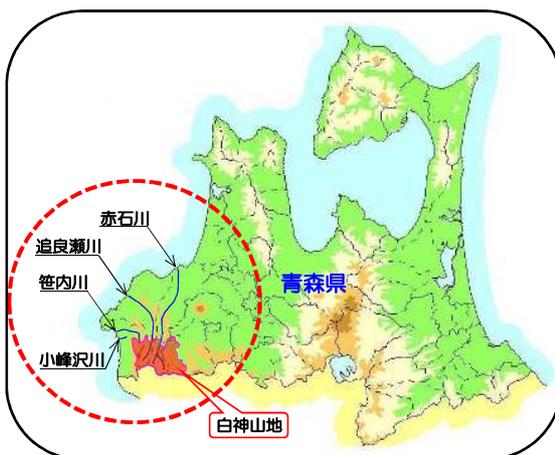
1. 大池系発電所の概要
2. 平成24年度検討協議会（前回）の経緯
3. 「西津軽の河川環境について話し合う場」における意見

令和5年9月1日

1

1. 大池系発電所の概要

(1-1) 大池系発電所の位置

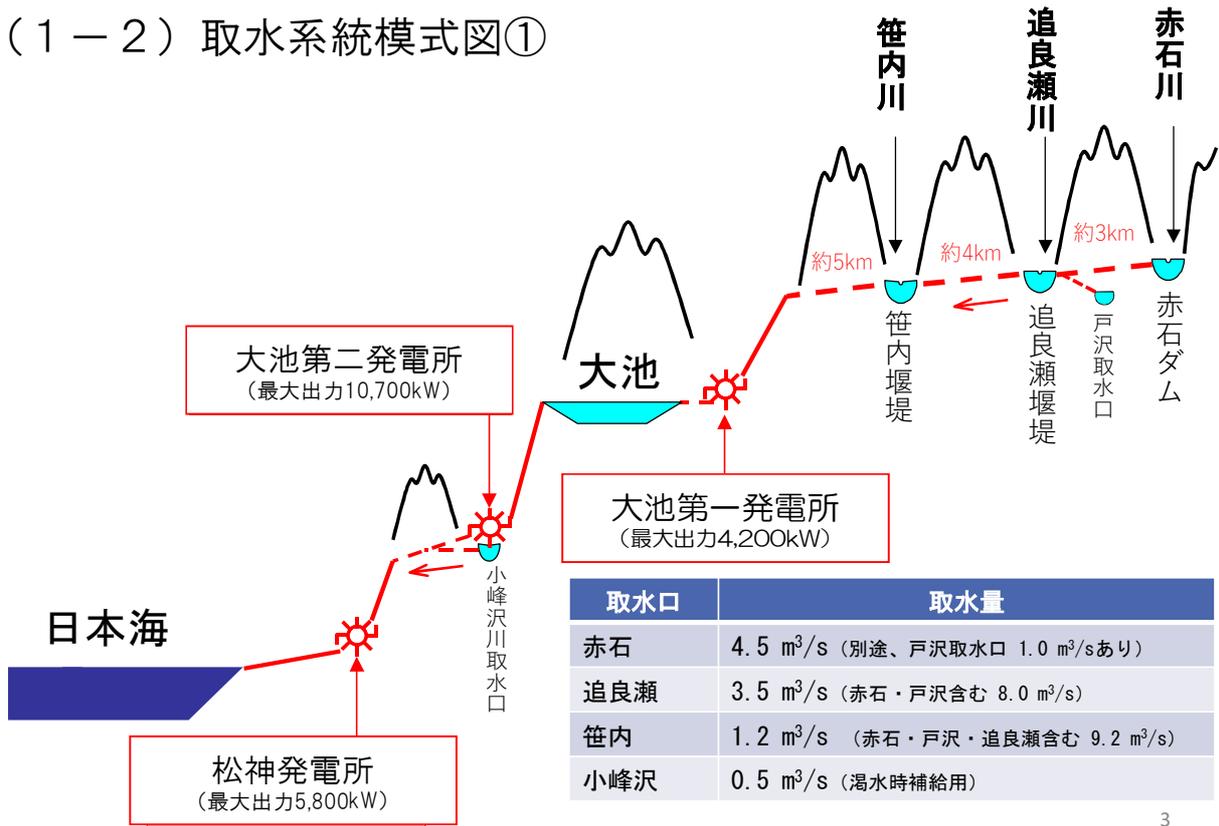


秋田県

2

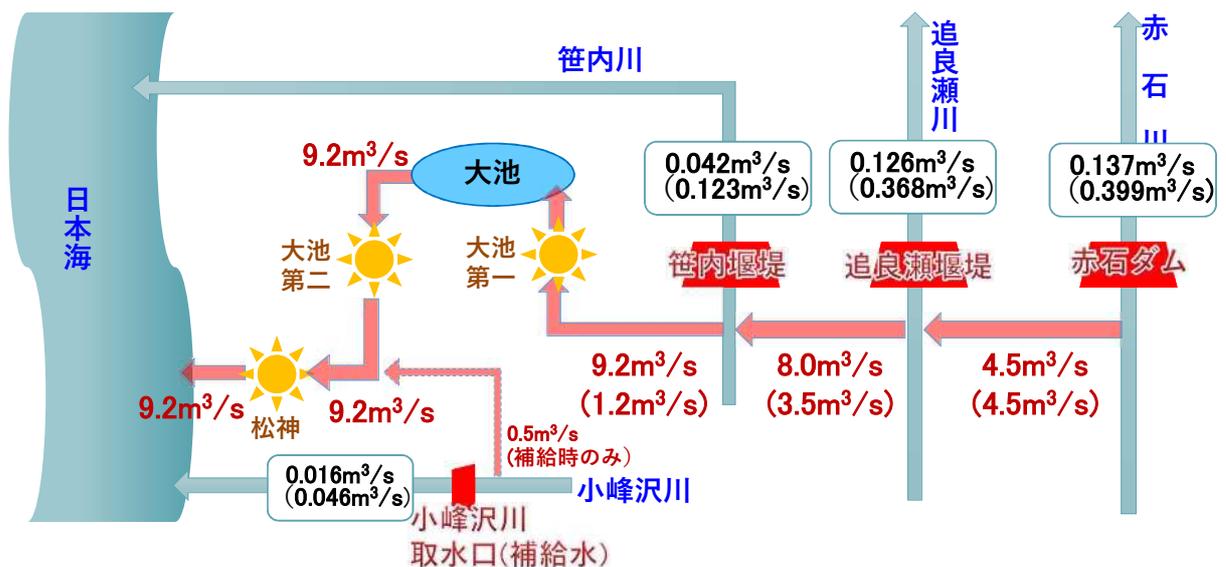
1. 大池系発電所の概要

(1-2) 取水系統模式図①



1. 大池系発電所の概要について

(1-2) 取水系統模式図②



1. 大池系発電所の概要

(2) 水利権許可の経緯

許可年月日	許可受者	備考	維持流量
S27.10.30	当初許可	東北電力(株)	期限：S57.3.31
S31.3.31	発電開始	—	
S58.3.24	更新許可	東北電力(株)	期限：H4.3.31
H6.5.16	変更許可	東北電力(株)	・取水条件規定 期限：H14.3.31
H14.3.29	暫定許可		期限：H15.3.31

H4.5.27～
・通年 0.321m³/s

H14協議会

許可年月日	許可受者	備考	維持流量
H15.3.25	変更許可	東北電力(株)	・維持流量の変更 期限：H25.3.31

・6～9月 0.936m³/s
・10～5月 0.321m³/s

H24協議会

許可年月日	許可受者	備考	維持流量
H25.3.13	更新許可	東北電力(株)	期限：H45.3.31

同上

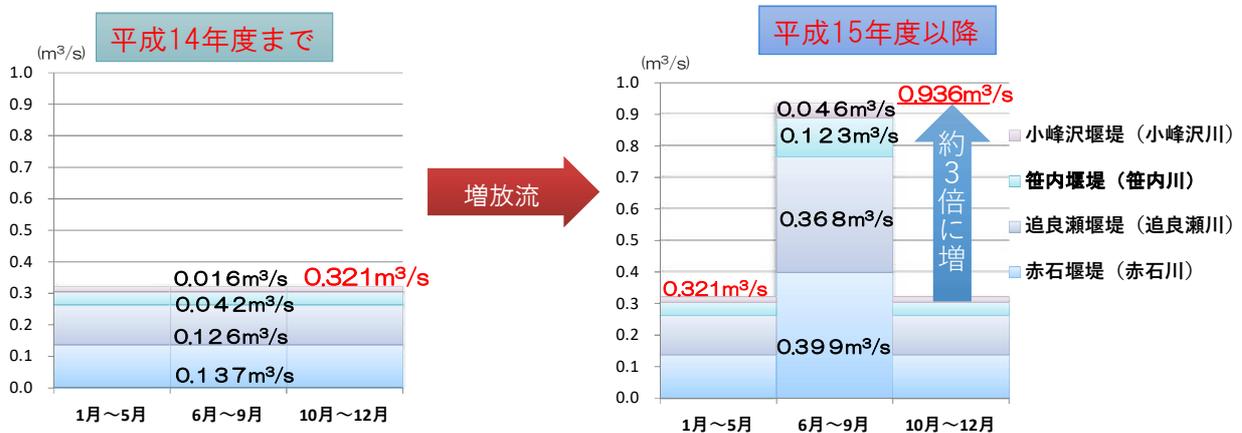
5

1. 大池系発電所の概要

(3) 維持流量の増放流について

H14協議会最終意見 …… 許可期限10年

各取水地点における下流河川への放流量は、現行の通年最低0.321m³/s(4河川合計)から、夏場の4ヶ月間については、これまでのおおよそ3倍にあたる最低0.936m³/sへ増量する。



6

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

令和4年8月豪雨による被災状況及び復旧の見通し等

■アクセス道路について

- ・赤石ダム、追良瀬堰堤及び笹内堰堤への進入は、県道28号岩崎西目屋弘前線（白神ライン）、町道赤石溪流線及び東北電力専用道路等を通行する必要がある。
- ・白神ラインでは32箇所において、赤石溪流線では21箇所において、道路損壊やのり面崩壊などが発生している状況である。
- ・復旧工事については、白神ラインでは約7割の箇所、赤石溪流線では約5割の箇所、今年度着手する予定であり、完成は令和6年度以降となる。



◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■アクセス道路の状況 (令和5年6月2日時点) 県道28号岩崎西目屋弘前線 (白神ライン)

① 仁瀬橋下流



① 仁瀬橋



② 一ツ森峠



③ 追良瀬大橋上流



◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■アクセス道路の状況(令和5年6月2日時点) 県道28号岩崎西目屋弘前線(白神ライン)

④乱岩の滝付近



9

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■アクセス道路の状況(令和5年6月2日時点) 県道28号岩崎西目屋弘前線(白神ライン)

⑤津軽峠付近



10

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■アクセス道路の状況（令和5年6月2日時点） 町道赤石溪流線

⑥赤石大橋付近



⑦赤石大橋上流付近



◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■東北電力(株)の設備被害状況について

◆大池系3発電所(大池第一・大池第二・松神)について

令和4年8月豪雨により取水施設への土砂・流木の堆積、電源・通信ケーブルの断線など甚大な設備被害が発生し、各取水口からの取水が出来ない状況となり、発電所の運転を停止中である。

◆専用道路について

各取水口への専用道路についても路肩の流失等、甚大な被害が発生した。

◆復旧について

被害の発生した設備の仮復旧、本復旧に向けた調査・測量・設計など、関係者(県・鯉ヶ沢町・関連漁協他)と協議を進め、順次復旧及び検討を進めている状況。令和5年度、追良瀬川及び笹内川からの取水再開を目標としている。赤石ダムにおいては、引き続き、可能な限り早期の取水再開を目指している。

取水施設	被害状況	復旧状況	備考
赤石ダム	電源通信ケーブル断線	未	被災設備は追良瀬川取水口の上流に位置する
	注水口土砂堆積	未	
追良瀬堰堤	ダム排砂門前面流木堆積	人力切断→土砂埋没あり	
	湛水池土砂堆積(河床上昇)	未	
笹内堰堤	湛水池土砂堆積	復旧済	
	沈砂池側壁剥離	未	調査済み

専用道路名	被害状況	復旧状況	備考
赤石川取水口	土砂崩落	本復旧済	
追良瀬川取水口	延長2.1kmのうち延べ1km流失	令和5年度から復旧対応に着手	現地測量済み
笹内川取水口	土砂崩落、路肩流失数箇所 道路流失40m	仮復旧	
松神～大池第二発電所間	路肩流失・土砂崩落など16箇所	仮復旧	
大池第二～大池第一発電所間	路肩流失・土砂崩落など8箇所	仮復旧	

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■赤石導水路注水口・追良瀬川取水口等の被害状況（令和4年8月6日時点）



◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

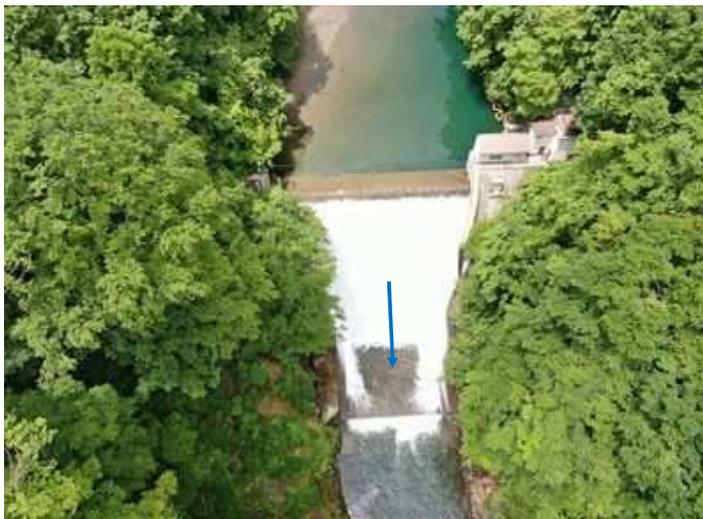
■追良瀬川取水口専用道路の状況（令和4年8月6日時点）



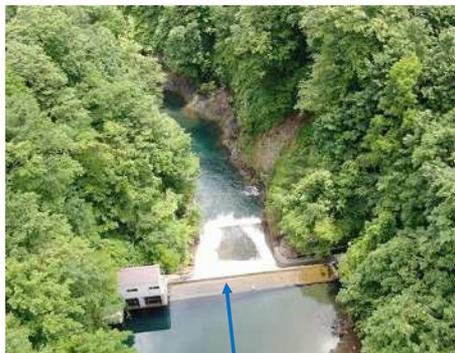
◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■赤石ダムの状況（令和5年6月12日時点）

①赤石ダム（下流から）



②赤石ダム（上流から）



③赤石ダム越流部



15

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■赤石ダム湛水池の状況（令和5年6月12日時点）



No.0～No.1付近土砂堆積状況



No. 2付近土砂堆積状況



No. 3～ No. 5付近土砂堆積状況



No. 6～ No. 7付近土砂堆積状況



16

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■追良瀬堰堤の状況（令和5年6月2日時点）

①堰堤正面



②取水口周辺

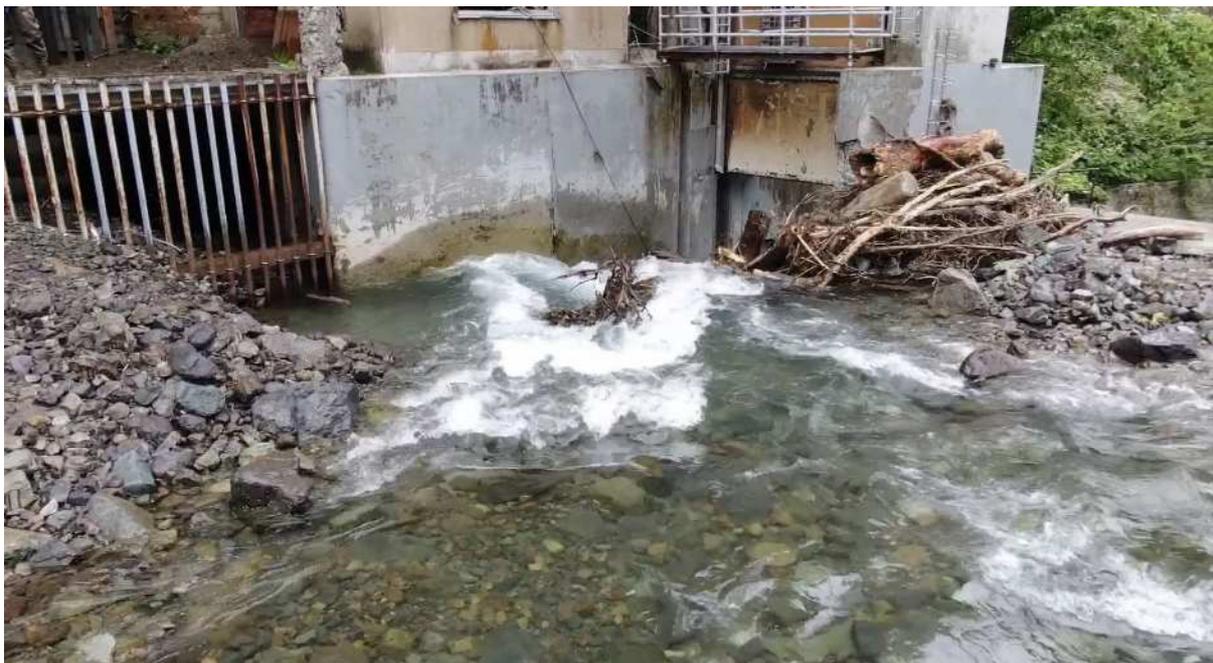


17

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■追良瀬堰堤の状況（令和5年6月2日時点）

③取水口前面



18

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■追良瀬堰堤の状況（令和5年6月2日時点）

④湛水池土砂堆積状況（全景）

赤石導水路注水口



追良瀬川取水口

⑤湛水池（上流から）



19

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■追良瀬堰堤の状況（令和5年6月2日時点）

⑥赤石導水路注水口



※注水口周辺土砂堆積
河床上昇（全景）



※赤石導水路出口状況（赤石川へ逆流）

20

◆令和4年8月豪雨後の各施設の状況

■ 笹内堰堤及び専用道路の状況（令和5年6月12日時点）

① 笹内堰堤付近



② 笹内堰堤下流



2. 平成24年度（前回）検討協議会の経緯

増放流の継続に加え、以下の附帯意見を付した上で、水利権許可期間が20年間に延長された。

- (1) 水利権の許可から10年を目途に、河川環境や水利使用状況等について検証するため、検討協議会を開催していただきたい。
- (2) さらに5年毎に、河川環境について話し合う場を設けていただきたい。
- (3) 赤石ダム堆砂問題については、関係者間の協議を継続していただきたい。
- (4) 赤石ダムへの魚道設置については、多角的な検討を継続していただきたい。

平成24年 12月18日

青森県庁 三好 忠彦 様

大館市河川部の水利使用に係る検討協議会
会長 佐々木 昌彦 様

「大館市河川部の水利使用に係る検討協議会」ご挨拶について

大館市河川部の水利使用に係る検討協議会（以下、検討協議会）は、平成24年12月18日（水）から19日（木）にかけて大館市河川部において平成24年度第1回（第1回）検討協議会を開催し、今後の水利使用について、互いの意向を聞き取り、今後の協力を図ることを目的として開催されました。

記

1. 大館市河川部、道後川、笹内川及び赤石川等の流域に
おける10年毎の定期的な河川環境や水利使用状況等の検証及び関係者間の協議を、今後5年毎に実施し、関係者間の協議を継続していただくことについて、検討協議会において合意されました。

流域地点	湧き出し	谷川	下流	赤石川
大館市河川部	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s
道後川	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s
笹内川	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s
赤石川	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s	0.000m³/s

2. 水利権許可期間
2024年12月18日

3. 議事録
（1）水利権許可期間10年を目途に、河川環境や水利使用状況等について検証するため、検討協議会を開催していただきたい。
（2）さらに5年毎に、河川環境について話し合う場を設けていただきたい。
（3）赤石ダムの堆砂問題については、関係者間の協議を継続していただきたい。
（4）赤石ダムへの魚道設置については、多角的な検討を継続していただきたい。

3. 「西津軽の河川環境について話し合う場」における意見

(1) 平成29年度

①河川管理者への意見

(意見) 「河川にコンクリートの残骸があるので撤去して欲しい。」

(回答) 「必要に応じて対処していきたい。」

②東北電力(株)への意見

(意見) 「発電取水堰から下流への放流量の増減がある場合は、事前に説明が欲しい。」

「秋のサケ採捕の際は、川の中に人がいるため、水が多いと危険性が増す。東北電力と話し合いをしていきたい。」

「アユが小さく、平成14年の赤石ダム土砂流出から減少している。今後、自然回復するよう関係者と協議して対応してほしい。」

(回答) 「早めに説明する。設備トラブル等の緊急時は理解いただきたい。」

(意見) 「赤石ダムの堆砂問題、魚道設置の方針を説明して欲しい。」

(回答) 「堆砂については、排砂門からの放流について関係者からの同意が得られず、浚渫については、環境に与える影響を考えると実施的に不可能である。」

「魚道設置については、新しい知見をリサーチしているが、実質的に進んでいない状況である。」

23

3. 「西津軽の河川環境について話し合う場」における意見

(2) 令和4年度

①河川管理者への意見

(意見) 「砂防堰堤の魚道について、増水後の清掃をお願いしたい。」

「河川工事で川底の深みを埋めると冬眠する魚がいなくなるため、環境に配慮してほしい。」 「河川内の雑木を伐採してほしい。」

(回答) 「地域の意見等を聞きながら進めていきたい。」

(意見) 「均したところは一年ごとに河道が変わってしまい、災害の発生が起こり得るため、水制工を作って川の流れを維持してほしい。」

「赤石ダムから自然的に排砂があるため、その地点のBODを計測すべき」

(回答) 「今後の参考とさせていただく。」

②東北電力(株)への意見

(意見) 「赤石ダムで堰き止めたことによる、イワナの近親交配等による絶滅の問題を考えてほしい。」

「魚道設置について、重機が不可であれば人力で検討してほしい。」

「魚道は無理だと思う。魚道が土砂で埋まった場合は誰が管理するのか。」

「魚道の設置について、今回をもって、最終結論とするのは早い気がする。まだ可能性を探っていくべきではないか。」

(回答) 「これまで長期間検討しており、やはり難しいと体感している。」

24